

〈解答〉

① 1 A 自分の巣に持ち帰る B [例] 水分や栄養分

2 ア

3 イ

配点 ① 2、3は各2点、他は各3点 10点満点

〈解説〉

①

1 スミレの種子とアリの関係性については、第一段落から第三段落にかけて述べられている。「種子を [A] というアリの行動」とあることから、スミレの種子とアリの行動に注目すると、第一段落に「アリもまたエライオソームをえさとするために種子を自分の巣に持ち帰る」と述べられているので、[A]に入るアリの行動は「自分の巣に持ち帰る」である。また、[B]には、アリがスミレの種子を捨てる場所についての説明が入ると考えられるので、それについて述べられている第三段落に注目すると、「アリのごみ捨て場所には、ほかにも植物の食べかすなども捨てられているから、水分も栄養分も豊富に保たれている」と述べられており、[B]に入れるのに適当な言葉は、「水分や栄養分（栄養分や水分）」であることがわかる。

2 スミレが花を長くした理由について述べられている第五段落と第六段落に注目する。

ここでは、「スミレは花粉を運んでくれるパートナーとして、玉石混淆の虫のなかからハナバチを選び、ハナバチは舌を長く伸ばすことができる虫であるため、スミレはハナバチが蜜を飲むことができるように花を長くした」と述べられている。よって、アが適当である。イ「スミレの花に近づけないような形」、ウ「蜜を盗まれることなく」、エ「舌を伸ばせないハナバチ」、オ「すべての虫に花粉をつける」がそれぞれ適当ではない。

3 脱文がスミレの花の特徴的な構造について述べている文であることを注目する。

(ア) (ウ) の中で、スミレの花の構造について述べているのは、

(イ) と (ウ) である。そして、(イ) の直前では、「やじるべえのように」と中央でバランスをとるようなスミレの花の構造を比喻を用いて表現していることから、この脱文は (イ) に入るのが適当だとわかる。